

大会テーマ

2050 年カーボンニュートラルの実現を目指し ー山口県はどのような政策を実施すべきかー

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、今年2月に閣議決定された地球温暖化対策計画では、温室効果ガス排出量を2035年度に60%、2040年度に73%削減（2013年度比）するという野心的な目標を設定し、全ての者が自主的かつ積極的に気候変動問題に取り組む必要があるとしている。

こうした国の動きを捉え、山口県では「ぶちエコやまぐち」を合言葉に、県民一人ひとりが地球温暖化対策に自ら取り組むこと（ゼロカーボン・チャレンジ）を推進している。

しかしながら、2050年のカーボンニュートラルの実現は険しい道であることは間違いない。目標達成までは残り25年である。猶予はない。そこで、「山口県はカーボンニュートラルの実現に向けてどのような政策を実施すべきか」について考えることは重要なことであろう。

以上の大会趣意を踏まえて以下のような問いに応答してほしい。

パブリック・ディベートの問い

「2050年カーボンニュートラルの実現」に向けて、

- （１）どのようなユニークな政策が考えられるか。
- （２）県民の理解を得て、行動を起こしてもらうために何を行うべきか

山口県ならではのユニークかつ斬新なアイデアの提案を行ってください。